

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

	発 言 内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 流域委員会の提言に、短期間で県が即座に答えるのは難しい。県が策定した整備計画について、経済面や技術面の中身が克明にわかるように今後の課題としてお願いしたい。 ● 県の改修は、河口から順番に河床を掘り下げてきて、効果が出ているとお聴きしたが、このまま継続すると、潮止堰があるが、一定以上実施すると潮が逆流することはないのか、危惧する。 ● 提言の千苅ダム、青野ダム、丸山ダムのダムにたまる水は最高限度があり、危険水位になると放流すると思うが、どう対応するのか。集中豪雨時に、ダムの堰堤を高くするとか。素人は不安である。 ● 新規ダムの代替施設として、遊水地をどう確保するのか。用地買収から、水をひくまでの、工事の過程について、流域委員会から説明が欲しい。 ● 学校の 30cm の工事。工事を実施する場合、児童の安全をどう考えるのか。西宮では 10 校であるが、その範囲等、少し内容がわかる説明が欲しい。 ● 水田に初期に 15cm 貯留するとあるが、農家のすべての作物は洪水のおそれがあれば、堰板を上げて排水を行うのは普通。手塩にかけた農作物を守るには、堰板を上げるのは致し方ない。提言に矛盾がある。 ● 水害にそなえる提言として、開発規制、川幅の拡幅はやるべし。日本国中乱開発で、被害がでているので賛成である。今頃、出てくるのは遅きに失する。 ● 提言内容はたくさんあるが、実施が難しいものばかり、費用が入っていない。 ● 自然災害に関する完璧な対策はないので、被害を最小限にする対策が必要。H7 年の阪神淡路大震災のようにしたくない。地震は毎年来ないが、台風は必ず来るので集中豪雨の場合、大きな被害が予想される。今日の資料のハザードマップにあるように、武庫川が溢れた場合、決壊した場合、整備計画の中で、災害に対して安全であることをやって欲しい。 ● 提言そのものについては、新規ダムを洪水調節施設に位置づけていないことについては、再考して欲しい。 ● 1/30, 1/50 ではなく、集中豪雨を対象に早く工事をして、住民の安全につながるような県の行政を行って欲しい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 川底を掘るのが簡単ではないのか。掘削のスピードが遅い。田んぼに水をためるより、もっと川底を掘り下げの方が良いと思う。
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 県の部分は、県が説明すべきであるが、提言については、提言を作った人に趣旨を説明させるべきである。趣旨が伝わらない。
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 直接流域委員会から聴きたかった。質問をしたかった。その上で納得したい。聴く機会を別途つくって欲しい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/18 以上の場合に適応できないことは不安である。 ● 流域委員会からの提言は、自然と景観を大切との発想で理解できるが、人の生命と財産の点からは、まずは、新規ダム+その他の対策が重要なのではないのか。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> いつ大雨が降って堤防が決壊するかもしれない。要因として、オゾン層の破壊等たくさんあるので考慮して欲しい。
6	<ul style="list-style-type: none"> 大雨の際に流域に水をためるとしているが、下水管が、一時貯留に役立つのではないか。提言でも地下貯留が示されているので、校庭や公園の地下にためる方が良いのでは。
7	<ul style="list-style-type: none"> 一昨年の洪水のとき、高水敷のグラウンドと堤防の境のところに水がきた。今どういったところに住んでいるのかを確かめたいので、堤内の住居の地盤の海拔標高と、堤防の基礎の高さを示して欲しい。
8	<ul style="list-style-type: none"> 天井川の解消が一番。 流域委員会の提言に対して、県はダムを作りたいのではないか。その奥に見え隠れする。雨水管や天井川の解消が重要。これらは地元の業者でも実施可能、ダムはゼネコン実施で汚職の温床になりかねない。
9	<ul style="list-style-type: none"> 命が大事だから、ダムを作りなさいとの意見がありましたが、環境も命も大事である。環境破壊によって、こういった事態になってきた。環境を守ることが重要。提言を活かして欲しい。総合治水をみんなで考えていく時代。
10	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁で、水が堰き止められ、頻繁に水位が上がる。橋桁を上げて欲しい。 上流で開発が進んでいることを懸念している。
11	<ul style="list-style-type: none"> 対策として、バラ色の。あらゆるものを並べているが、実現困難な対策が多い。学校の校庭貯留は無理、ナンセンスである。水田については、効果が小さい。見回り時に、事故があった時の責任問題もある。実現不可能である。実現可能なものを選択し、それに対して、費用対効果を出すべきである。思い付くものを、全てを出しても意味がない。絞り込むべき。 開発の問題については、開発すれば、水が増えるのは当たり前であり、新規ダムうんぬんの前に、対策するべきである。開発規制等について、総合的な判断が必要であり、今後の課題として十分考慮して欲しい。
12	<ul style="list-style-type: none"> 小規模開発が怖い。
13	<ul style="list-style-type: none"> 盛り沢山の計画が説明され、一気には理解できないので、本日の説明を参考にして、後日、皆で寄って、相談したい。危険な箇所等については調査して、コツコツとやって欲しい。 青野ダムには、水が貯まっていない、丸山ダムも貯まっていない等、問題がある。千叡ダムも、対策として有効ではないと思う。
14	<ul style="list-style-type: none"> 1/18の確率の3,449m³/sは、流量ではピンとこない。住んでいるところが川から離れているので、実感がない。H.16が甲武橋で2,900m³/sなので、実感としてはこの程度の水位でよいのではないか。 学校等に水をためる話がでていたが、道路の水を100%側溝に流していたが、171号では浸透性になっているので、多少分散されているのでは。相当の年月と費用がかかるので道路工事の保守で続けていると聴いている。 田んぼに一時的に水をひくのは効果があるのか。深さ的にはしれているのでは。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

15	<ul style="list-style-type: none"> 川を底をさらえているが、いつから天井川になったのか。ところどころに堰があるので、上流で深くほっても意味がないのでは。 経験的に、武庫川でここが危ないという場所はわかっているのであれば、そういうところの堤防強化をすればよいと思う。
16	<ul style="list-style-type: none"> 今回の説明の案内であるが紙一枚ではわからない。事前に、もう少しアウトライン等の内容を示して欲しかった。資料が欲しかった。他の会場は知らないが、今日のように、当日、説明が次から次に流されると、素人ではわかりにくい。 「環境か命か、どちらを選ぶか」、提言の実現は難しいと考える。結果を待ちたい。
17	<ul style="list-style-type: none"> 流域委員会では、かなり努力してやっていただいた。本日、提案の弊害・課題について聴かされたが、色んな所でやっていることを参考にして提案しているはずである。懸念はあっても、越えるものがあるはずである。本日は、委員はおらず、説明の角度が違うのではないか。レベルが不明である。 水害について、2年前の台風で、武庫川の流木等を見たが、怖かった。幸い、住んでいるところには被害はなかったが、もし、堤防が決壊したら大きな被害になる。一番の関心は、流れる量と、堤防の安全性であり、堤防について安心感が欲しい。 生瀬～武田尾にかけて、昔からキャンプ等で利用していた。今は利用できなくなっており、回復を望む。
18	<ul style="list-style-type: none"> 心配なのは、県は、課題や、できないことばかり並べていることである。対策を実施せずに水害が起こることを、心配する。 流域委員会の提言書は読んだが、すごく立派と思った。県としては、実現できるように最大限頑張ってもらいたい。 西宮市政ニュースでは、「新規ダムも視野に入れて、整備計画を策定しよう、要望書を県に出した。」とのことであるが、提言では整備計画の中には視野に入れないことになっている。
19	<ul style="list-style-type: none"> 整備計画が1/18なら、それ以上のものが来たら被害が生じるのか、ハザードマップでは、住んでいるところは、1mから2m浸水することになっている。ハザードマップでは、破堤も想定しているはずだが、武庫川流域委員会の委員は、ハザードマップを見ているのか、気になった。 ハザードマップの浸水深どおりだと、1階に住んでいる者は死んでしまう。河川の幅を拡げることが必要ではないか。貴重種は大切だが、治水や水害との比較が必要であり、県には、検討していただきたい。 最近、武庫川で、ヌートリアを見かける。円山川では、破堤の原因となつたと聴いている。破堤に対しては、スーパー堤防には金がかかるため、矢板等の工法で対処できないか。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

20	<ul style="list-style-type: none"> ● 乱開発が進み、水がどっと流れてくる、根本を何とかするべきである。先ず、宅地造成や乱開発等を規制するべき、優先すべきである。昔はこの辺りも田んぼばかりで、自然と水が溜まっていた。上流で開発が進めば、下流で水が増えていくのは当たり前である。ますます地球温暖化や砂漠化等が進行し、大雨傾向になる。 ● 堤防決壊を、一番心配している。地震で堤防も大分傷んでいる。決壊すれば大きな被害となるため、あってはならないことである。 ● 農地等はあてにしない方が良い。人の手はあてにするべきではない。 ● 浚渫砂は売れるので、浚渫もどんどんやって欲しい。天井川のため、堤防の補強については、徐々にでもするべき、時間が掛かってもするべきである。将来的に、安全なまちづくりができる。 ● 調整池の効果は、たかがしれている、生温い、乱開発そのものを規制することが必要である。基本が大事である。
21	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民の感情としては、堤防が本当に大丈夫かということが、一番心配である。また、川底の掘削をお願いしたい。
22	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員会には、ずっと付き合ってきたが、すごく熱心で、すごく勉強されている。様々な方面から提言されている。 ● 新規ダムについては、すごく前から議論があり、提言書では「新規ダムがあるから、安全ではない。」としている。提言書をしっかり読んで欲しい。提言書どおり、県はしっかりとやっていくべき。 ● 上流ため池は老朽化しており、維持に困っているため、県はため池を改修すべきである。
23	<ul style="list-style-type: none"> ● 13年間、武庫川を歩いて、観察している。平成16年台風の後の改修は評価し、努力は認める。この地域に関連する所では、河川敷が広い箇所があり、絶対安全な堤防づくりが可能である。この地区をモデル的に先行着手することをお願いしたい。 ● 本日配布資料は、少なくとも、1~2ヶ月前に欲しかった。
24	<ul style="list-style-type: none"> ● 武庫川流域委員会は、県の方向付けができる委員会のように思う。本日の説明会について、突然、素人に言われても分からない。 ● 新規ダムは一度に景観を壊す。 ● 校庭や公園等、果たして課題をクリアできるのか。この事業では、できないと思う。
25	<ul style="list-style-type: none"> ● 掘削すると、塩分が遡上することを懸念している。地下水を使っており、農業への影響を懸念している。 ● 地下水に関しては、安心して良いのか、約束できますね。 ● 我々の生命と財産を守って欲しい、治水事業によって、脅かされることのないように、くれぐれも願います。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

26	<ul style="list-style-type: none"> 流域対策は、大変なことと思う。 堤防が決壊すると、大きな被害が出る。堤防が決壊しないようにできないのか。
27	<ul style="list-style-type: none"> 200年前に5回程決壊している、非常に大きな犠牲があった。決壊は絶対に避けるべきである。 ダムは自然破壊がある、最終的な手段である。先行させては駄目。自然も大切、両立は難しいが、行政で責任を持ってまとめるべきである。
28	<ul style="list-style-type: none"> 治水と利水目的は矛盾する。淀川水系流域委員会では、そこを指摘している。同時に、法的に難しいという結論になっている。 法的な手順として難しく、実際はできない。校庭利用について、田畑・水田と混乱している。農家にとって命である田畑が浸水するのと、校庭が浸水するのは、全くレベルが違うこと。分けて議論するべき。 この説明会については、初めて聴く人もいる、先入観を持っている人もいる、知識のレベルが違う等、客観的な議論にならない。西宮市全体では多く開催するが、各地域で1回ずつしか開催しないのでは、議論は深まらない。
29	<ul style="list-style-type: none"> 下流域に住む我々には、水を始末したりすることはできない。武庫川は天井川であるため、川幅を拡げて欲しい。 治水安全度について、現時点で即断できない。 西宮市史によれば、昔は毎年のように、頻繁に洪水があった。川幅を拡げる等の対策はお願いしたいが、上流の方々に犠牲を強いることは無理である。
30	<ul style="list-style-type: none"> ダムがあっても洪水は起こる。ダムダムと騒いでも、洪水は起こる。ダムを造れば、100%大丈夫なのか。想定外の大雨が降れば、駄目ではないのか。川底には、鳥やその他の生物が生息している。
31	<ul style="list-style-type: none"> ダムで、いくつ位山が駄目になるのか。何故こんな良いところに造るのか。 三田に大きな池を造れば、ダムは不要と思う。
32	<ul style="list-style-type: none"> 新規ダムの計画が要るか、要らないかの判断について、自然を残してダムをつくらないほうが良いので、きちんと調査を行って欲しい。自然を大事にして欲しい。良いものには、たくさんお金をかけてもよいのでは。 千叡ダム、丸山ダム、青野ダムは飲料水等の目的があるが、新規ダムは洪水だけのためなのか。それなら、武田尾まで自然の影響（破壊）があるので問題である。他の方法があるのでは。 ダムサイトは、ハイキング等での番景観のよいところで、破壊されるのでは。 私は、武庫川溪谷でハイキングに参加しているが、自然に恵まれているのでそういったことをきちんと考えて行って欲しい。 新規ダムに膨大な費用はかかるが、本当に必要なのかどうか、つくったが後は大変だということにならないようお願いします。 天井川であり、私は海のそばに住んでいるが、堤防補強が必要では。
33	<ul style="list-style-type: none"> 新規ダムについての意見は特にはないのですが、既存ダムを活用して、新規ダムを考えていくことは自然である。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

3 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員会にも傍聴という形で参加している。良く考えられた提言であり、県には、是非この提言に沿って進めてもらいたい。 ● 23号台風では、淡路島の三原川では、5つの治水ダムがあったにもかかわらず大洪水になった。下流の河川改修が不十分であり、堤防が決壊した。他にも、円山川や出石川では堤防が決壊し、大災害の原因になった。 ● 武庫川でもリバーサイドで被災したが、リバーサイド住宅は、本来なら川底にある住宅にもかかわらず建築許可がでた。 ● 武庫川では、川の手入れがされていない。心配なのは下流域で堤防が、阪神淡路大震災によって、がたがたになっていること、亀裂等が入り傷んでいる。改修が必要である。 ● その他に、川の断面を拡げることが必要。 ● 是非、総合治水対策を推進していただきたい。新規ダムなんて、とんでもない、効果も不明、無いかもしれない。税金の無駄遣いであり、そんな金は、総合治水に回すべきである。さらに努力をお願いする。 ● 「武庫川の新規ダムについても、談合が進んでいる。」との噂がある。今後は、色々と調べていただいて、委員会も県も、せっかく努力して作っていただいた提言であるので、無駄にしないで欲しい。
3 5	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球規模の異常気象、世界的に温暖化が進んでいる。異常気象による大洪水が頻繁に起こっている。そのため、早く対策を必要とする。 ● 大洪水もどこで起こっても不思議ではない。洪水対策は今一番急がれること、遅れているという気がする。平成16年洪水を教訓に、再び大災害を受けないように、新規ダムは必ずしも賛成ではないが、できることは早くすべき。対策は早く取るべきである。武庫川ダム300億の投資は無駄ではない、無ければそれ以上の災害が生じる。武庫川の対策はされているのか。可能な対策を是非とも実現させて欲しい、すべき時である。
3 6	<ul style="list-style-type: none"> ● 流域対策で、小学校に水を貯めるという話があったが、現実的に、後処理をどうするのか、大変である、予算確保も難しい。PTAが処理するとしても、手がないのが実情。したがって、本当に大切との啓蒙が大事。公助・自助・共助と言われたが、自治体や教育委員会も本気でやっていただきたい。 ● 治水対策については、技術的なことについても、科学的に観測する等、行政として、是非真摯に取り組んでもらいたい。
3 7	<ul style="list-style-type: none"> ● 新聞等では流域委員会について紹介されていたが、説明を聴いてよくわかった。
3 8	<ul style="list-style-type: none"> ● 武庫川上流の天気と下流の天気が異なるので、情報伝達だけ（テレビなど）はお願いします。
3 9	<ul style="list-style-type: none"> ● 大変膨大な提言内容を、簡潔に説明いただいたが、委員会の問題ですが、25名の委員が、知事の諮問を受けて、昨年8月に提言書を答申した。特徴的なこととして、独自性が出ている。通常は、諮問した当局の方針に沿って答申するのが一般的であるが、この提言は、各委員が原案を作成し、答申した。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

	<p>自主性を評価する。委員会の審査の透明性を確保して、民主的にやってきたこと、会議を全面的に公開し、議事録も作成して公開する、加えて、市民の意見も聴取する、といったことに賛同する。委員長のまとめの中では、「提言を、広く市民に説明・報告する。」ように、当局に求めており、この地元説明会もそれに沿ったものである。提言の内容については、説明は分かりやすかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 武庫川の治水というのは、先ず河川改修、堤防を作る、さらに新規ダムを造るといのが県の方針。河川改修を、年々やってきたことは十分理解できる。問題は、武庫川ダムの問題であり、大きな論議が巻き起こったことは、説明があったとおりである。提言では、武庫川ダムを、どのように位置付けるのか興味があった。新規ダムの必要性については、新規ダム以外の対応で治水対策を進めるべきだという提言であった。それが、武庫川の総合治水対策ということ。それは、大雨が、直接武庫川に流れ込まないように対策である。賛同するが、難しい問題もある、実現性や経済性等。安易に新規ダムに頼るのではなく、行政としても努力をお願いする。 ● 県へお願いだが、提言を真摯に受け止め、計画に活かしていただきたい。強く要望する。
4 0	<ul style="list-style-type: none"> ● 治水と堤防等の安全性、今後 30 年～100 年に向けてどうするか。降った雨をいかに吸収するか。道路（県道、市道）に雨を浸透させるべき。対策に取り入れるべきである。川に行く水が減る。 ● 決壊を防ぐこと。江戸時代後期の岐阜県における伝統工法がある。堤防の中を、3 層か 4 層にして、鉛（現在は使用できないが）やニッケルを基底部に入れる。水の進入に強くなる。それに水抜き工法もあわせる。
4 1	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築の仕事をしているが、建築は目先のこと、土木では 200 年は必要。100 年は目標であって、ここにあるのは、1/18 かもしれないこと、それで安心したつもりになっている、心配である。地球温暖化で、雨は増える傾向にある。 ● ハザードマップについては、流域全体が分かるようにするべきである。川向こうのことは、分からないという感覚では困る。
4 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 素晴らしい提言書である。委員の方々が熱心に議論された、努力された。全国に誇れるものである。 ● 千苅水源地については、100 年近く経って、台風で被害も受け、老朽化もしている。利用していただきたい。今あるものを活用して、治水に使っていただきたい。水も余っている。新規ダムは造らないで下さい。
4 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 植林については、数値化されなかったということだが、もっと植樹に力を入れて欲しい。毎日新聞の記念事業で植樹祭も行っており、そういう方面の協力も得て、自然を生かして進めて行って欲しい。
4 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員の中で、水害を体験したものは、何名か、23 号の水害地を何回視察したか。我々は、小さい頃は、床下浸水を何度も経験している。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> ● 生命よりも、環境が大事なのか。動物は、人間以上に環境変化に対応できる。それを踏まえて、我々の感覚を持って欲しい。 ● 上流の自然の森・山と西宮市のような下流の歴史のある河川景観・環境と、どのように天秤にかけるのか。自然は元に戻る。
4 5	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規ダムについて。私も、新規ダムが一番良いと思う。51枚目のスライドに、新規ダムの環境面の課題が記載されているが、平常時は水を貯めないなら、環境には全然影響が無いと思う。 ● 震災では、親兄弟が死んだ、12年前の事を忘れていてのではないか。施設を早急に造って、対応して実施して欲しい。
4 6	<ul style="list-style-type: none"> ● 床上まで浸水するような内水域の氾濫については、これまでに度々経験した。親からは、高潮被害も聴いているが、ポンプ場設置で少なくなってきたように思う。 ● 武庫川の決壊は近年無いが、最近の異常気象も踏まえた「武庫川流域委員会からの答申」は立派だと思ふ。 ● ダムの限界が明らかになってきており、全国で見直しが始まっている。アメリカでは、ダム撤去の動きが出ている。ダムよりは、洪水が起きないように方策に対して知恵を働かすべきである。 ● 武庫川にダムを造ると、「住んでいる頭の上にダムができる。」ことになる。100年以上の水が来て、ダムが決壊したらどうなるのか。また、堤防が決壊したらどうなるのか。国土交通省も、「溢水しても、大きな被害にならないように。」と言っている。 ● 委員会の答申を、本当に真摯に受け止めて、総合的な治水対策、森林の保全や休耕田の利用等も、答申を実現する方向で努力をお願いする。
4 7	<ul style="list-style-type: none"> ● 提言では、新規ダムの論点として、第1点目に機能と効果、環境は2番目になっている。それが今は、環境か安全かという話になっている。新規ダムの効果や安全性についての検討はやっていると思う。
4 8	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常気象になっている。早く結論を出すべき。
4 9	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業関係の者だが、水田やため池・公園・学校で貯留することに対して、県は、「課題が大きく、今後検討していく。」と言うが、自然災害は待ったなしで、震災もあった。 ● 洪水ということについては、環境よりも人命が大切であり、壊滅的な被害を防ぐためには、新規ダムが必要である！早急な対策として入れるべき。
5 0	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常気象が激しく、対策が間に合わない。暫定的な処置として、危機管理として「犠牲を最小限にする」ということについて、「行政や住民が何をすべきか」について、並行して議論することが必要である。住民・行政の双方からの提案も必要である。
5 1	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規ダムをつくれれば安全ではない、計画規模以上の雨では駄目。大被害は全て破堤・決壊が原因、堤防補強が必要である。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> • 溢水しても破堤しない堤防が必要。堤防委員会の委員の一人が、「堤防の天端まで矢板を打てば良い。」と言っている。 • 昨年8月13日の新聞では、国土交通省は「治水計画は、減災へ転換する。」と言っている。 • 大阪弁護士会館で開催された『ダムのシンポジウム』で、「ヨーロッパでは洪水は1週間も10日も続くが、日本では2~3時間続くだけで、その間堤防が持ち堪えれば良い。」と聞いた。 • 「矢板を粘土層まで深く打つと、地下水に影響して塩害が起こる。」と聞いたが、西宮市では、宮水で酒造りをしているが、塩害で酒造りができなくなったことは、聞いたことがない。粘土層まで、矢板を打つことが必要である。 • 潮止堰の問題については「撤去しても、堰の上流1kmまでしか、塩は上がらない。」ので、塩害の心配は不要である。
5 2	<ul style="list-style-type: none"> • 「総合的な治水対策」については、初めて聞いた。体験を話したい。パワーポイントの27頁に、「ダムはあらゆる洪水に万能ではない。」と記載されていることについて。故郷は、淡路島だが、三原川では、5つのダムがあったが、すごい洪水、大被害になった。提言どおり、良く考えていきたい。 • 武庫川の危険箇所については、住民が良く分かっているので、意見を聴くべき。治山治水については、国が国土を守るべき。乱開発が、洪水の原因になる。「日本では、水田がダムの役割を果たしているため、減反が続くと大変なことになる。」と本で読んだ。県と国は、一緒に考えていくことが必要。 • 30年、100年の話があったが、もっと若い人達に参加してもらって、若い人の意見・全体の人々の意見を聴くことに、努力をお願いする。
5 3	<ul style="list-style-type: none"> • 委員会の2年以上に及ぶ議論について説明を受けたが、抜けている事がある。縦断勾配のこと。鳴尾地区は、最下流端に位置し、勾配が無いいため、河積を拡げても流下能力が増えなければ、溢れる。 • 高潮との関係が、全く議論されていない。海水と真水には比重に差がある。 • 推定であるが。南部橋~阪神本線の間については、堤防が脆弱である。断面が薄く、高さも低い。
5 4	<ul style="list-style-type: none"> • 武庫川の両岸、堤内地側に、川をつくることの検討をお願いしたい。
5 5	<ul style="list-style-type: none"> • 整備計画は30年を目処にしているが、ちょっと長い。もっと短縮する方向で検討していただきたい。異常気象の増加を考えると、悠長過ぎる。
5 6	<ul style="list-style-type: none"> • 大きい効果である、新規ダムを造って下さい！下流に住む我々にとっては必要、環境よりも人命・財産が大事。浸水想定区域図によれば、西宮市の半分は浸かる。尼崎市を入れると、100万人位に被害が出る。よろしく願います。
5 7	<ul style="list-style-type: none"> • 新規ダムは無くなったということだが、新規ダムについては工夫がされている。底抜け・中抜けにして、平常は水は流れ、台風の時だけ貯留するだけで、生物や自然に関係ない。ダムは、一番安くて、確実である。他の対策は、小手先ばかりで、根本的な解決にならない。 • 新規ダムは洪水時に水を貯めるだけ。資産・人命が大事である。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

58	<ul style="list-style-type: none"> ● 本気でやる気があるのか。小手先の対策は、金を使うばかり、300億円はみんな消えてしまう。新規ダムにまとめて、集中してやるべき。
59	<ul style="list-style-type: none"> ● 武庫川ダム規模以上の、大規模な環境破壊をこれまでにやってきた、その裏返しとして、集中豪雨が出ている。そういった事を、良く頭に入れて、これからの対策に取り組んでもらいたい。
60	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元で、工事に取り組んでいただいていることに対しては、敬意を表したい。地元では、今、鳴尾駅で堤防強化をテスト的に工事をやっている。 ● 本日説明のあった過去の水害(昭和35年～平成16年)は、全て体験している。
61	<ul style="list-style-type: none"> ● 団地の高い所に住んでいるため、洪水に対する危機感が薄い。提言は初めて見た。 ● 武田尾温泉によく行っていたが、ところが、近くにダムができる可能性があるを知って、これは大変と本日来た。 ● 地球環境が、非常に危ない状況、開発し過ぎである。できるだけ総合的な対策を行っていただき、自然と共生しながらできる方法を採用して欲しい。現在の洪水は、大規模開発やゴルフ場開発等が原因で、自然の保水力が低下した。そこにまた新規ダムを造って、自然破壊をするということは、未来を考える哲学に反する。既存ダムを壊す国もあると聴いている。既存施設の活用も必要。 ● 提言はすごく良いことを一杯言っているのだから、少々費用が掛かっても是非お願いしたい。
62	<ul style="list-style-type: none"> ● 県は、20年前に、床止工を無くせば、流水量が増えると言っている。また、潮止堰を無くすと流水量が増えるので、これらを検討願いたい。
63	<ul style="list-style-type: none"> ● ダムより堤防強化を考えるべきである。ここは、決壊すれば一番被害を受ける場所である。 ● 「ダムは万能ではない。」という認識は大事で、新潟の例では、3つのダムがあったが、ダムがあって大丈夫と思っていたため、弱い人に被害が出た。寝たきり老人が溺死している。武庫川峡谷の下流にも、多くの支川が流れ込んでくるため、ダムの下流は心配である。総合治水対策と堤防強化を重視して欲しい。 ● 潮止堰の問題について。正確に、委員会の提言内容を説明すべきである。潮止堰は、撤去して流量を増やすべきである。自然再生の観点からも撤去すべきである、潮止堰でアユ等の魚が遡上できない。潮止堰については、提言でも課題になっている。
64	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的には武庫川の堤防は、皆さんの命財産を守るという、非常に切実なお話である。地元から「堤防強化はちゃんとして欲しい。」というご意見を受けて、技術的調査はやっていただいたが、今後も必要はあるため、継続してやって欲しい。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> 整備計画の水準について。三田では1/30を確保しているが、河川整備は下流からが基本であり、バランスを考えると早急な対応が必要である。時間的な問題、費用対効果の問題等について検討が必要である。 以上2つの検討をお願いしたい。河川管理者として、費用・期間等、県の姿勢を早急に示すべきである。
65	<ul style="list-style-type: none"> 提言されている内容は、素晴らしいと思う。実現に向けて、当局は努力されていると思う。
66	<ul style="list-style-type: none"> 1/100でつくるのは、県の計画で、良いものであるが、我々にとっては、10年、20年先のことが大切である。
67	<ul style="list-style-type: none"> 川だけでは洪水に対応できず、局所的な豪雨もあるため、総合治水の考え方は、非常に良いと思う。 武庫川峡谷のことだが、景観や自然保護の観点からも、残すことが必要である。 河川だけでなく、他の組織についても、横断的に集めることが必要である。今日は、県土整備部土木局が来られているが、総合的な組織が必要ではないかと思う。
68	<ul style="list-style-type: none"> 70年始め頃には西宮市でも洪水が、80年代には近所のマンホールが溢れる等あった。天井川である武庫川が心配であるが、総合治水については、全くそのとおりだと思う。 上流の方から、西宮市の市街地に水が流れてくる可能性がある。武庫川だけではなく、仁川より上流から流れてくる感じである。
69	<ul style="list-style-type: none"> 潮止堰では土砂が堆積している。提言にも記述されており、無駄な潮止堰を早く撤去することが必要である。 名塩にも山が削られ家が建てられている。県が指導すべきである。 防災調節池についても、業者が設置するように、県が指導することが必要である。 淡路島の三原川には、ダムが5つもあったに水害になった。自然を破壊するダムは絶対止めて欲しい。 流域委員会の素晴らしい提言に沿って、地元説明会を開いて欲しい。ダムの効果についても、「ダムは万能ではない。」と提言に書かれている。県はダムに関して、環境面だけ検討すると言っているが、ダムはすごく金がかかる、300億円。無駄な税金を使って欲しくない。 ダムは、下流の雨には効果がない。武庫川には、多くの川が流入する。
70	<ul style="list-style-type: none"> 行政側は、提言を受けて、新組織で体制づくりをして臨むようだが、県側は、NGOも含めて、ネットワークをつくる先導役になって欲しい。大切なことで、適切な判断をしたと、後世の人に言えるようにして欲しい。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

7 1	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明を聴いて、唾然としている。25名の委員の名前を見て、京大の先生とか、4年間に200余回の会議の回数を重ねて、21年に結論を得ますとのこと。川尻の鳴尾をどうしてくれるのか。台風が来たり、天気予報でビクビクしている。 ● 58災時、阪神橋梁の鉄橋すれすれまで水がきた。これで、兵庫県は真剣になって、ダムを考えた。ダムが良いとか悪いとかではなく、てっとり早く、一番、安全なものが必要。30年も待てない。 ● H.12年に、西宮市、尼崎市、宝塚市、伊丹市の助役と市から1名ずつ、調査委員長の亀井静香氏へ陳情にいった。「ようわかった、100万人の命が大事だ」と、言ってくれた。 ● それが2年後に、計画発表とは・・・、聴けない話である。ダムは、てっとり早いと思う。ダムをやりながら考えるべき。
7 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合治水の考え方は、明治以来の治山治水の中で画期的なこと。われわれは、活かしていく立場で考えるべき。 ● 基本方針を今年の12月までに決めるとのこと。私は、これは早すぎると考える。まずは、整備計画。基本計画は、当然ダムをつくること。ダムは問題があって、ダムの効果は、あまりありません。そういうことは早急に決めることではない。これでは拙速を欠くと考える。当面は、このあたりでは、河道掘削と堤防補強・強化が、整備計画の中で重要である。 ● 流域の63%の山林の機能を数的にできないのはしょうがないと思うが、林野の状況がどうなっているのか、どういった、針葉樹、広葉樹があり、林床の状況等がどうかを調べる、林相をよくすることが必要。兵庫県は、一人あたり、800円の森林税を取っているのだから。
7 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 期待はずれである。流域委員会の提言は、県が全面的に受け止めて100%実現可能なものではない。我々は、実行計画とそれについての工程表がない。 ● 流域委員会の提言の中には、貴重なものはあるが、県として受け止めて、現状の問題と対策とそのための実行計画を作らないと、この地域がどうなるのか見えてこない。 ● 具体化してからにして欲しい。県全体のものは、将来的に必要だが、行政に任せる。甲武橋上下流のアンバランスの話はわかったが、それに対して、この地域の問題点はどうなるのか。堆砂の問題等、それぞれ固有の問題等を情報集約を行って、どう捉えて、全体のポリシーに反映し、それが地域で、どう実現できるか。それを地域にはかる必要がある。
7 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 頭の良い人が長年、お金をかけて考えたことで、H.22の7月に整備計画の策定のこと。小田原評議だ。議論がいろいろあることは、しょうがない。要はいずれにしても、決めたことをやれる金があるのか疑問に思う。 ● 洪水で水が鳴尾にでてから、国に金をもらいに行つてどうするのか疑問に思う。
7 5	<ul style="list-style-type: none"> ● ダムは、自然破壊である。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

76	<ul style="list-style-type: none"> 河道対策の中に、堤防の補強が抜けている。震災でがたがたになっている。今すぐにやって欲しい。
77	<ul style="list-style-type: none"> 環境からのアプローチに興味深く見ていた。森林の面積63%について、これらは杉林です。但馬地区の円山川の決壊は、杉林で水が流れて、杉まで根こそぎ倒れたところが、多々あることが原因である。武庫川の森林の63%については、ありがたい。保水をどう活かすべきかを考えるべき。 武庫川峡谷を子供と見に行った。豊かである、様々なものがある。阪神間の都市化の中で、残すべき所。これ以上の開発は、いらない。なによりも緑の保全が必要。100年後に、地球も環境もどうなっているのかわからない、計画は無茶だ。
78	<ul style="list-style-type: none"> 計画は具体化できていない、とのこと。流域住民として、計画の前段階での話を聴くべきで、今後とも、このような形で、そのつどやって欲しい。
79	<ul style="list-style-type: none"> ゲリラ的な洪水が多発している。東京で地下が水浸した。武庫川は、1/100で川があふれて鳴尾に流れるのに対しては脱ダムの方向で考えたい。ゲリラ降雨で、ここは天井川なので、武庫川に流れていかない。内水の方が危険なのではないかと思う。
80	<ul style="list-style-type: none"> お願いします。「災害は忘れた頃にやってくる。」。鳴尾が歴史上に現れたのは、1,300年代以前。その当時から、武庫川は、暴れ川であった。意見を聴いているが、住んでいる我々は、何かあったら重大。できるだけ速やかに、良い方向にもって行って欲しい。切実に思っている。
81	<ul style="list-style-type: none"> 整備計画1/30。基本方針1/100。孫の世代の話。みんな生きていない。将来、次の世代のために、自然再生をやって欲しい。大阪湾も淀川でも取り組んでいる。 私の小学生時代、50年前には、夏は、川へよく遊びにいった。ウナギの稚魚も、うじゃうじゃいた。鮎もサツキマスもいた。今後再生できるのでは。今から50~60年前に戻って欲しい。不要な用水等の堰を取っ払うとか、魚のために穴をあけるとか、やって欲しい。
82	<ul style="list-style-type: none"> 今までのご意見は、同じく、武庫川の流域委員会でも、県議会でもでている。円山川の話もでている。治山についての森林の話もでている。 私自信、ダムが反対か賛成かについて、どんなダムをつくっても長くもたない、と思う。ただし、その効果も少なからずある。生きている間に対応可能だと思う。 何をすることも予算の話。緑税の話、保水・都市緑化等の環境対策を進めている。西宮では、5~6箇所を進めている。 過去の前例を踏まえ、提言に対して、議会で予算づけを行って、武庫川でも川の掘削や堤防強化を行っている。ただし、ダムと森林の問題は予算も時間もかかる。 少しでも多数の方に武庫川流域に関心をもっていただきたい。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

8 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 「治水に関わる環境対策【2つの原則】流域内で種の絶滅を招かない」と書かれているが、武庫川では、どんどん魚種が減っている。 ● 昔は、オイカワが産卵して、魚がどんどん孵化していた。小さな魚は、なんぼでもいるが、大きくならない。水質や環境が悪いのか、魚が減っていつている。ジャコ等、いなくなった種が多い。その都度、漁業組合が放流している。青葉台のところにタナゴがいたが、秋には、ブラックバスがどんどん出て来て、絶滅するといった状況である。よろしくお願ひしたい。
8 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 千苅ダム・丸山ダム・青野ダムについては、可能かと思うが、農地・ため池・学校等については、そこにも雨が降る。一体どの位の効果量があるのか疑問である。農地では、稲を育てる時期には水を貯めている。それ以上は微々たるもの。そういう事を考えるよりも、河道の浚渫を行っているとお聴きしたが、仁川合流点から下流では、夏になると、表流水が無い。昔は流れていた、土砂が堆積して河床が上がっているため、としか思われぬ。 ● アユの天然遡上が無くなってきた。大洪水の時は、ダムに水を貯めてもらっても良いが、水量不足の時には、水を流してもらいたい。 ● 第1にやっていただきたいことは、下流の浚渫、河床の掘削であり、下流から整備を進めていただきたい。 ● 困っているのは、百間樋や六樋で取水され、全部水が取られてしまうこと。アユが遡上できない。だから、一番てっとり早いのは、河床の浚渫で、一番有効ではないか。 ● 武庫川ダムの件。ダムができると河床を掘削するため、余計に遡上が減る。濁水が流れる。雨が降ると、どろどろの水が流れて来る。そうなる、漁業組合は困る。そこらを加味して、計画を立てていただきたいと思ひます。
8 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 提言は非常に結構なこと。県は全くそれと反対。県は、委員会の意見を取り入れて取り組むべきなのに、できないことを蕩々と述べられている。ましてや、新規ダムのことを述べられている。委員会と県は、相反する敵対関係のもの。県としてできること、何をすれば解決できるか、もっと誠意を持って検討願ひたい。できることからやっていくことが、一番大切ではないか。
8 5	<ul style="list-style-type: none"> ● 宝塚の方で、河川改修、護岸工事をしており、土手を補強しているが、流下能力が少ないので溢れる可能性もある。
8 6	<ul style="list-style-type: none"> ● 洪水の原因は、堤防の決壊や河川の未改修が多い。 ● ダムよりも下流に集中豪雨があれば、ダムには関係なく、下流で被害がある。大きなダムを子孫に残して、子孫が喜ぶものかどうか大事なことなので、住民の意見に、耳を傾けていただきたい。 ● 基本方針・整備計画策定のながれの中で、「流域住民への説明会」というのは上の方だけ。住民が納得できるように、話し合いを持つべきである。 ● 危険な場所から改修とか、堤防の強化から始めれば、「委員会が30年間新規ダム不要」という提言は当たっていると思ひます。十分検討していただきたい。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> 23号台風では、ダムが4つもありながら生瀬で決壊した。36年間住んでいるが、経験したことがない。 森興橋は、もともとはもう少し広かった。橋を架け替える時に、何時のまにか川が狭くなった。狭くなった箇所では、水流は勢いを増して、セメントで固められて前に出た部分に当たり、逆流した。
87	<ul style="list-style-type: none"> 県が設置した「堤防補強検討委員会」でも、堤防の決壊の原因は、浸透・越水・洗掘の3種類あると言われている。堤防は浸透して崩れるのが、殆どの原因と言うが、円山川については、国の検討によれば、堤防を水が乗り越えて、堤防が抉り取られた事が原因である。淡路の三原川でも、堤防を水が乗り越えている。 県は、浸透対策だけで対応しようとしていることを、説明するべきである。
88	<ul style="list-style-type: none"> 水田について。武庫川の洪水を議論する場合、降雨の流域と出水する流域がはっきりしている。水田は、武庫川の上・中流域の水田が対象となる。上・中流域の農村部は、じいちゃん、ばあちゃんの農業である。水田を利用する場合、台風の本盛時や梅雨末期に堰板の操作をするように、誰が言うのか、誰もせん。仮に、生半可な知恵で水を貯めると、中途半端な降雨で、初期の段階で水がアウト、ピークの時には田んぼは、水があふれて、畔を壊す。すると、次々に水があふれて、他の田んぼに影響する。洪水のピストルの引き金を引くことになる。自助、共助ではなく、上流、中流域の水を出す地域の田んぼと下流域の破堤する地域とは、別の人たちだ。この説明はおかしい。今回の提言は、農村の実態を知らない委員のばかげた提案だ。 ため池の利用について、田植えに水は必要。日照りは許容しない。降るか降らないか、わからない状況で、絶対に水位を下げた治水転用をしない。梅雨の末期にため池を満杯にするのは当然で、提言は、もってのほか。 水道の千苅ダム、丸山ダムも同じ。治水のために、事前放流することは決してしない。他人の禪をあてにするような提言は、もってのほか。 学校、防災調整池について、大阪の寝屋川の瓜破小学校で実施例がある。視察してきた。雨が降ったら、2日後には運動会をできるようにしているとの校長の説明であった。でも金がかかる。こんなことまで、するのか疑問に思う。 流域対策は、公共下水道の雨水ポンプのような発想である。雨水ポンプ、都市下水道は、短期間で負けてよいが、河川は、絶対負けてはいけない。これらのええ加減な対策を基本方針に入れるのは、もってのほか。流域対策の数字を入れて欲しくない。ダム賛成の立場ではないが、これらの対策は安全弁の上乗せでやって欲しい。上流は西宮、尼崎地域の浸水を考えていない。
89	<ul style="list-style-type: none"> 田んぼの貯留について、武庫川は、西宮に入ると天井川。同じ考えは、この地域ではできない。通用しない。地下水が高いので水がたまらない伊丹と尼崎も低いので、農地の面積等を調べていただくと貯留できないことがわかる。武庫川に流していけない。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> ● その中で、非常時、例えば、決壊した時の対応策、決壊しないような補強策に取り組んで欲しい。これが抜けているのでは。
9 0	<ul style="list-style-type: none"> ● 福知山線の河川敷のハイキングコースでのダム建設は残念、それで、この問題に関心をもった。300 億円かかるとのこと。主婦感覚で、そこまでかけて、大丈夫かと思う。流域委員会の委員長の話を聞いたが、流域委員会では、傍聴人は自由に発言できるし、何か、朝から晩まで専門的な人がやって検討している。知事は、はじめからダムをつくるので、ごくろうさん、一応、流域委員会の意見を聴いている、という感じであったが。このことが疑問。 ● 親戚が但馬の円山川に住んでいるが、室戸台風で堤防が決壊している。心配である。H. 16 の 23 号台風で出石、豊岡で決壊した。お金を使って、堤防補強が大事と考えている。仁川合流点に住んでいるが、震災の後に、地下水が出ていた。堤防にひびが入って水がしみてきており、下流まで続いていた。しっかり、補強して欲しい。 ● 武庫川に降る雨はどこにでも公平に降る。今のダムの場所につくって効果があるのか疑問である。仁川には、効かない。それより、300 億かけて、堤防を高く、強くした方が良い。
9 1	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防団として、警報が出て、地域を巡回していて水の怖さを感じている。 ● 今から 30~40 年前、仁川上流で堤防一杯に水が出て、一部が決壊した。倉庫が流された。水の怖さは大事と考えている。西宮は天井川で、右側の堤防が切れると、H. 16 の 23 号台風時に円山川の損害の何倍にもなる。県としては、治水に相当力を入れてもらわないと、ハザードマップでは、段上は大丈夫だが、西宮市内は大変だ。 ● 夏場は、普段、武庫川の堤防を下流から走って帰るが、23 号の時は、阪神から国道 2 号線までの間では、河川敷の約 1m まで水がのっていた。2, 900m³/s でこの状況で、3, 449m³/s の時には、どこまで水位があがるのか、またそれによって、堤防補強や整備計画で、3, 449m³/s にするのなら、どれだけのことをするのかをわかってもらうことが必要。 ● 人が住めば住むほど、自然も破壊してきたので、人の生命・財産か、自然かとなると、どちらも大事と考えているが、何かあった時は、生命・財産を守って欲しい。耐震補強のこともそうである。1/100, 1/10 といっても今年起きるかも知れない。納得できない人が多いが、危険性が高いので、いつも注意を払って真剣にやるべき。 ● 青野ダム、千苺ダム、丸山ダムの利水ダム、ため池の水は、農業用の利水ダム、これらを 1m 下げるには、どれくらいの水を流すのか、下流の河川がもつのか疑問に思う。例えば、青野ダム、千苺ダム、丸山ダムの利水ダムが 80% の容量で、水を貯めていた場合、事前放流することによって、武庫川の堤防がもつのか、もたないのか疑問に思う。ため池の 1m では相当の水が流れる。梅雨末期や台風時に事前放流で、1m 減らすのは無理である。新規ダムで考えるべき。これを踏まえて、今後、可能なことをやるべき。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

9 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 流域全体に雨が降る。今までの河川行政は、全て、河川に水が集まってくるのをどうするのか、であって、提言は、流域のそこ、あそこ、水をためる。そのことは、田んぼの畔が切れるとか、堰板の操作が出たが、そういうことがその地域の水害から生活を守る一つの手だてでもあり、そこにためることが下流に役に立つ面もある。一つの河川構造物で処理するのではなく、三田市で、篠山市でそれぞれの地域で、方策を考えるべき、そういう点で、総合治水計画での立場、考え方で対処することは大切なこと。 ● 仁川上流の甲山の湿地が新聞にでている。水がたまらず、湿地がなくなってきており、木が生えて、切り取って湿地を戻している人の話。水をためて、湿地を保全するのも、下流に対して、ほんの些細ではあるが、武庫川への水の流出、流出係数を下げることになるのでは。 ● ラグビーが好きだが、花園ラグビー場のグラウンドは、洪水の時に、貯水槽になる。こういった対策も新しいやり方だと思う。
9 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/100、1/30にしても洪水貯留施設の役割は、約18%程度で少ない。 ● 学校に水をためてもたいしたことはないが、そのための後始末とか、誰がするのか疑問に思う。50～100年後に少子化で学校がなくなったり、減反とか不安定。能力的に少ないのに大変なこと、お金等をかけてすべきなのか疑問に思う。 ● 大都市の地下の貯水槽は、干ばつ時の利水に役立つし、もっと、手っ取り早く、どーんと、良い方法を知恵を絞って、考えて欲しい。
9 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 堤町では、住民説明会の案内がきていない。こんなことで、どうして意見をいうことができるのか。今日は、地元ではないが、鳴尾での説明会に参加して発言時間がなかったので、今日は、発言したい。 ● 氾濫は心配。私の住んでいる堤町では、ハザードマップでは、湛水深が1～2mである、この水をどうしてくれるのか。鳴尾でも説明を聞いたが、治水の末端のことであるが、その意見が出ていない。 ● 堤防を先にやってから低水路掘削の順番ではないかと思う。 ● 当地へは、引っ越してきた。十数年見てきて、武庫川は、どぶ川である。えらく広く川を削って、魚もいない状況である。環境はどうなっているのか疑問である。
9 5	<ul style="list-style-type: none"> ● 校庭・公園の貯留について、実際に計算すると、1haに30cm貯めるとすると3,000トンで、甲武橋地点の1秒分にしかない。実際は、そんなに効果は無く、有効な対策になりそうにない。しかも、大抵の場合、避難所になる等、課題があるため、慎重にやっていただきたい。 ● 森林の問題に関して、武庫川では酸性土壌のため、樹木があまり育たない。 ● 昭和51年の17号台風を経験したが、田んぼに水を貯めるなんて、そんなことを言っている状態ではない。操作に行くこと自体が命懸け。また、田んぼが、段々になっている場合は、上の田んぼが決壊すると、下の田んぼにも危険が及ぶ。気楽に、「やって下さい。」とお願いできるものではない。

「武庫川総合治水の推進」説明会 西宮市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> ● 生瀬～海岸の間は、完全に天井川になっている。先ず、河道の改修を先行すべきである。 ● 「穴あきダム」については、上手く考えていると思う。
9 6	<ul style="list-style-type: none"> ● 西宮市の場合は、雨水処理は、1/7～1/10年で、47mm/hr～55mm/hrを目標に、下水道の整備を進めている。三田市や宝塚市を、もっと整備してはどうかと思う。
9 7	<ul style="list-style-type: none"> ● 床止工が高いと、土砂が貯まる。昔と比べると、河床が上昇している気がする。 ● 宝塚の下は、河床勾配は結構緩やかだが、床止工が高いと、ウナギの稚魚のシラスが遡上しない。 ● 地下に太いパイプで、一時的に貯留するアイデアを、武庫川の各支流へ適用できないかと思う。費用は大分掛かるとは思うが、人命第一を名目に予算を獲得して。 ● 地下貯留は環境面では、ほとんど影響が無い、素晴らしい対策である。
9 8	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員会のメンバーは、京都大学や神戸大学等の専門家も含めて検討して、こういう結論を出している。提言の方針に沿ってやった方が良いのではないか。